

新風！校長 & PTA会長対談

新校長の末吉久則先生と新PTA会長の
浜崎太郎さんに、野球から教育・今後の展
望までお話を伺いました。

——那珂南小の子どもたちの印象は？

校長 「街中にありながら素朴」といった印象です。山や畑はないビルばかりの環境でありながらも、校長である私にも子どもたちの方から気さくに話しかけてくれるし、「都会の田舎っ子」という印象です。那珂南の子どもたちは、外でよく遊ぶのでいいなと思っています。

——PTA総会で共に育てる「共育」というお話がありましたが、保護者への要望などありますか？

校長 基本的には子育てを一緒にしていこうというスタンスです。子どもの自立に向けて、学校にご意見があれば相談にのりますし、学校から家庭によびかけることもあると思います。

——共通の趣味は野球というお二人ですが、ちなみにプロ野球はどちらを応援されていますか？

校長 ホークスです。実は川崎宗則選手のトレーナーの尾関幸一郎君がぼくの教え子なんです。彼はガッツがあって、いつも一生懸命でした。運があったということもあるけれど、それ以上に好きな野球を一生懸命やったからこそ、川崎選手のトレーナーになれたんです。



会長 最初はみんなプロ野球選手になりたいって練習するけれど、途中で自分にはムリかもって思い始めるんですよね。野球が好きなら、プロ野球選手だけじゃなくて、トレーナーや球団職員など野球にまつわる仕事が他にもたくさんあります。それをだれかが教えてくれたら、私もその道を選んだかもしれません…。



校長室にて浜崎太郎PTA会長（写真左）と末吉久則校長先生（同右）

家庭と学校でいっしょに
子育てをしていきましょ！

校長先生！

福岡スタンダード「あいさつ・掃除 自学 立志」 那珂南小学校はどう取り組むのですか？

「あいさつ」は基本で、朝は校門で子どもたちを迎え、大きな声で元気な挨拶をしようと呼びかけています。

「掃除」は従来どおりの「縦割り清掃」で先輩が後輩に教えるスタイルでいいと思います。

「立志」に関しては4年生の「2分の1成人式」で充分だと思います。

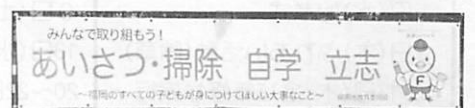
家庭と地域を含めて一緒に自立させることが立志につながるとしています。

「自学」は総会でお話したとおり、小学校の段階では「勉強」をバッチリさせていかななくてはいけません。この学校で教育方針として出している「よく学びよく遊ぶ」ことが大事です。

この場合の「遊び」は「スポーツ」とは違います。「スポーツ」はまずルールありきですが、「遊び」はルールができていって、遊んでいるうちにルールが変わっていく。一つの遊びに飽きるとグレードアップして、やりにくい方法でまた遊ぶんです。リーダー性、企画性、楽しみ方…社会でも重要なことを遊びから学んでいきます。

会長より

「自学」ってわかりづらいと思っていました。人によって捉え方がいろいろですからね。今の校長先生の話はわかりやすい。遊びで創造性を養って自学に結びつくということですね。与えられたものに対応するばかりでなく、白紙から何かを始めるようになるといいですよ。



+

よく学びよく遊べ



浜崎 太郎 PTA会長

那珂南校区出身。
障がい福祉サービス事業 リンゴの唄 施設長。
昨年度まで副会長を務め、今年度より会長に。



末吉 久則 校長先生

鹿児島県出身。
玄洋中学校より那珂南小学校校長に赴任。
中学校の考え方を小学校に応用する道を探る。

特別支援学級をつくりたい

校長 この学校には障がいのある子の学習が必要なんじゃないかと思いません。子どもはもちろん保護者も勉強してほしい。障がい児教育は周りのみんなでしないと無意味です。学校でいくら指導しても、家庭で保護者が偏見のある発言をされてはなんにもならないのです。だから保護者のみなさんと障がい児教育を一緒に進めていきたい、できれば特別支援学級(※)をつくりたいと考えています。

会長 私は障がい者施設を運営していますが、この業界に入ってなぜ全ての学校に特別支援学級がないのか疑問に思っていました。実現すれば、子どもが持ち帰るものは大きいと思います。

私たちが日頃思っているのは、障がいはその人のパーソナリティ(個性)だということです。足が速いけど計算が苦手だったら、足が遅くても計算が得意な子が少し手伝ってあげたりしますよね。それと同じことで、彼は歩くのが遅いから一緒についていってあげれば、みんなと同じ距離歩けるんだよ、といった感覚を持ってくればいいですね。そのためには子どもの頃から障がいのある人と接する環境を作ることは大事です。

校長 接して育つのと単に聞いただけで接していないのでは全く違います。

——小さい頃に接していると、友だちとしてけんかもするし話もする、助けられるところは助けることができるんですよ。

障がいのある子の教育

校長 けんかするのが当たり前だと思います。この子は障がいがあるからといって止める必要はないし、ぶつかるところはぶつかるんだから。ところが、接する機会がなければ支えることばかりになって、結局はうわべだけのつきあいになりがちです。「かわいそう」という目で見えちゃう。そうじゃないんですよ。北欧の福祉国家では、「完全なるものは神のみである」という教えがあり、障がい者も健常者も何も変わりはないということをや小さい頃から教えられます。これから先、子どもたちに教えていきたいことですね。

※特別支援学級:障がいが比較的軽い子どものために、小中学校などの校内に設置される少人数学級。

少人数工夫改善授業を増やしたい

会長 校長先生は中学校から小学校にいられたので、ずっと小学校にいる校長先生とは違う意見を持たれていると思います。たとえば中学校に入った時点で、すでに成績に差がついていることもありますよね。

校長 学力の二極化現象ですね。昔はみんな自分で勉強していたので差もそんなにつかなかったけれど、今は進学塾に通う子がいてすごく先に進んで

います。教員もどちらに合わせるか悩んで、できるだけ真ん中の子に合わせます。だから塾通いの子はどんどん先に進み、一方でわからない子はますますわからなくなるということが起こります。

その対策として、少人数授業でわからない子たちをフォローできるようになっています。だけどこの学校では少人数加配の先生が1名しかいま

学力の二極化現象の緩和

せん。この規模の小学校でももっと教員を増やしてもらえるように働きかけていきます。

会長 中学校の考え方を取り入れられるところは取り入れて、那珂南小の改革をどんどん進めていってほしいですね。期待しています。

8月28日(土)は
夏まつりがあります!

2学期の行事予定

9月

- 1日(水)始業式
- 9日(木)ふれあい活動(除草)
- 16・17日(木・金)6年修学旅行
- 16日(木)給食試食会
- 20日(月)バットボールロケット競技会
- 22日(水)人権学習参観・懇談

10月

- 9日(土)土曜参観・友愛セール
- 13日(水)5年親子レクレーション
- 20~22日(水~金)5年自然教室

※成人講演会予定

11月

- 1~4日(月~木)学校公開週間
- 14日(日)親子デイキャンプ
- 26日(金)学習発表会
- 30日(火)成人バス研修

※地区講演会予定

12月

- 3日(金)学期末懇談会
- 24日(金)終業式

ぜひご参加を♪
とにかく集おうPTA!